



# SAVOIA WINE PROJECT

2024年5月、皆様のご支援をうけてはじまった、  
現代の「王家のワイン」をつくるプロジェクト。  
東日本大震災からの復興のため開拓された宮城の  
ワイナリーにサヴォイア家騎士団のぶどう畑を広げ、  
長期的に地域振興と雇用創出を支援していきます。



昨年ので発表いたしました「Savoia Wine Project」 —  
多くの皆様のあたたかなご支援により、イタリア王家の文化的遺産を  
「ぶどうの苗木」として日本の大地に託す、小さな実験が始まりました。  
その一年目のあゆみと、確かな芽吹きの様子をご報告いたします。



## 一年目のあゆみと現況

2024年5月28日、サヴォイア家当主プリンス・エマヌエーレと騎士たちによる植樹式を経て、宮城県大和町の冷涼な土地に、希少なネッピオー口種の苗木を植えました。



仙台市長をはじめとする複数の自治体首長のご臨席のもと、記念式典と植樹は、TV局や新聞社の取材にも見守られながら、和やかに執り行われました。

その後、この一年は想定を超える気候条件により、根の張りが思うように進まず、苗の成長は一時足踏みしました。しかし、冬を前に専門家の判断で苗を切り戻し、春の芽吹きに備えた処置を行いました。

そして迎えたこの春、苗木は元気に芽を出し、若葉を広げています。病害対策も済ませ、現在、およそ80%の苗が健やかに活着しています。

## これからの育成計画

ネッピオー口は、イタリアの王侯の晩餐を彩ってきた、高貴で繊細なぶどう品種です。日本国内での栽培例は殆どなく、未知への挑戦ともいえます。仕立て方や剪定法を一つずつ探りながら、五年後の初収穫を目指し丁寧に育てて参ります。



また、本プロジェクトがメディアで紹介されたことを機にワイナリーを訪れる観光客が増えており、早くも地域の小さな活性にもつながりつつあることは、私たち騎士団にとって何よりの喜びです。

五年後の木々たちの果実から、どのような香りが生まれるのか。そして、それがどのような地域の未来へとつながっていくのか。ぜひこれからも、温かく見守っていただけましたら幸いです。